

第4回

支援機関見学会等オリエンテーション

いろいろな支援機関の見学や、関係者による講座を予定しています。その事前説明会です。

見学先資料は別途

見学会・講座の目的

「支援があると分かって希望がもてました」

メンバーの
言葉です



働けなければ食べていけない・・・
親が死んだらやっていけない・・・
将来は不安ばかり

教室で、病気のために出来ない場合は
支援制度が使えるんだと知りました



お金のこと、住まいのこと、働くこと、
ヘルパーや訪問看護・・・。
いろんな支援がある。相談できる場所があるんだ。
いろんな支援機関の見学会にも行きました。

なんとかなりそう・・・
ほっとしました。



情報は安心のもと！

支援のいろいろを知り、可能性を見つけ、必要なときに自分で選ぶ力をつけることが目的です。
実際に利用しなくてかまいませんので、安心して参加してください。

見学会・講座の種類

働く

- ・見学先の就労支援機関では、主に「オープン就労」を支援しています。テキスト「第9回」を参照してください。
- ・もちろん働くだけが人生ではありません。人生いろいろOKです！でも「働きたいけど無理」とあきらめていた人には、知らなかった可能性が見えてくるかもしれません。
- ・今後の参考に見ておくだけの方や、就労を希望しない方、クローズ就労希望の方も、見学会には遠慮なく参加してください。
- ・病状によって、すぐ利用するのではなく時間をかけて回復を待ってからがよい場合があります。その際のリハビリについては別途お尋ねください。

暮らす

- ・ 健康のために(ダイエット、運動など)
- ・ 生活支援機関
暮らしの不安、将来の不安の軽減に



各機関から詳しい説明をうけ、質問に答えてもらいます。

希望の見学先を選んで、それぞれの×切日までに申し込んでください。

見学後、**利用を希望される場合は**当室にお声かけの上、**主治医と相談**してください。(病状により合わない場合もあります)

ちょっと一言・・・

支援制度上でてくる「精神障害者」という言葉について

- 「病気のために今はしんどいので、支援を求める権利のある状態」を、そういう権利のない状態と区別するため、法律では「障害者」と呼びます。
- 公的な制度は法律に基づくため、あらゆる制度で「障害者」という言葉がでてきます。不適切な言葉なので気にしないで、「支援を求める権利のある状態」と心の中で読み替えてください。

岡本は「**求援権者**」
と勝手に呼んでます。



権利のある状態なら支援を使うのもOK。
自力で行けるなら使わないのもOK。
自分で選べる選択肢です。
その時々で自分に合う方を選べばよいのです。

支援機関を利用したことが
ありますか？

どんな機関に興味が
ありますか？

